

岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第14号



『ホームページ』をリニューアル致しました。 『新ホームページ』QRコード 

第14号発刊によせて

関西支部 支部長 岡田 敏嗣 (電気1974)

支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から当支部の諸活動にご協力とご支援を頂き、心より御礼申し上げます。関西支部 会報 第14号の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染が国内で発症(2020.1月)してから早や3年以上経過し、対策としてワクチンの複数回接種、3密の回避、マスク着用等が講じられてきましたが、感染の増減の繰り返しで残念ながら収束に至りませんでした。

このため支部の活動も自粛せざるを得ない状況が続き、見学会・交流会は中止を余儀なくされましたが、コロナ禍により図らずも得られましたオンライン(Zoom)会議手法を役員会で活用することで会報の発行、HP(ホームページ)更新、定期総会の準備等ができました。更には、最大行事であります「第13回・14回 定期総会」もZoomで開催し、昨年の「第14回」では講演会もできたことは良い経験となりました。

さて、本年6月18日(日)に開催を予定しています「第15回 定期総会」は、コロナがインフルエンザ並みになるとは言え完全に収束していないこともあり、会員皆様の健康と安全を最優先させていただき、昨年と同様にオンライン(Zoom)での開催といたします。何卒、ご理解の上ご了承ください。

今回のご講演は、昨年11月3日に開催されました「第8回 同窓会連合会の集い」で特別講演をされ好評を博しましたパイロットインキ株式会社 元取締役社長・会長 中筋 憲一氏[1966年 工業化学科卒]によります演題『真っ赤なもみじがフリクションボールのふるさと』をDVDで放映する予定です。

是非ともご参加頂き、ご聴講頂きますようお願いいたします。

現在、支部で直面しています大きな課題は、前回も述べましたように『会員の減少』問題です。これは、工業倶楽部全体(本部・4支部)の問題であり、組織一体となって「小委員会」で取り組みがなされていますが、テーマが「HP・会報の改善」「入会案内書の見直し」等に留まっているため成果は期待薄です。それに対し、当支部独自で①「新規支部会員の効果的な勧誘を行う」②「自己都合退会者を減らす」ことを主眼に既に取り組みを開始しています。その前段として、HPの管理を外部に委託していたものを支部自前の新HPを3月に試作・試行し、5月から本格運用を開始します。

この新HPの運用によって新規入会の問い合わせ窓口も開設し、入会しやすくすると共に迅速な対応を図ります。更には、HP更新委託料とプロバイダー費も削減することになるので会員の皆様から頂きます年会費の低減に反映させ会員皆様の負担軽減を図り、自己都合退会者を減らす工夫を進めます。

これらの具体的な内容は、この後の委員会報告で記載していますのでご一読をお願いします。

今後とも関西支部の更なる発展のために、皆様方の一層のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



関西支部 各委員会・事務局報告

◇総務委員会・事務局◇

総務委員長・事務局長 大森 和男 (精密1970)

1. 「第14回 定期総会」Zoom開催について

(1)日 時： 2022(R4)年6月19日(日) PM2:00~4:10

(2)出席者：来賓 岐阜大学 特任教授 航空宇宙生産技術開発センター センター長 小牧 博一 氏
岐阜大学 特任教授 航空宇宙生産技術開発センター 運営室長 二井眞治 氏
岐阜大学工業倶楽部 会長 坪内 繁樹氏 以上3名

会員：18名(役員14名、一般会員4名) 合計 21名

Zoom 定期総会の状況(写真)は、次ページに掲載しています。



Zoom 定期総会の状況



講演会



質疑応答

コロナ感染の影響により、昨年度に引き続いてオンライン(Zoom)による開催となりました。

従って、初めての試みとして「講演会」も Zoomで行いました。「講演会」は、我国で唯一の航空機の生産技術に関する教育機関として2019年4月に設立され、名古屋大学との統合によりできました東海国立大学機構の直轄機構として非常に注目されています「航空宇宙生産技術開発センター」の小牧博一センター長にお願いし、『航空宇宙生産技術開発センターの設立と運用について』～日本の航空宇宙産業クラスターの形成をめざして～の演題でご講演して頂きました。

続いて、総会に入り、報告事項「2021年度 事業報告」「2021年度 会計報告・特別会計報告及び会計監査報告」とも質疑はなく承認されました。

次いで決議事項「役員異動(案)」「2022年度 事業計画(案)」「2022年度 予算(案)」についても、異議なく全員賛成で原案通り承認可決され、総会を終了しました。

2. 「役員会」等の実施状況 役員会(4回)・HP更新プロジェクト(PJ:2回)全て Zoomで実施

第1回 2022年7月24日(日) 12名参加 ①会員へ総会報告、②「理事会」報告、③支部活動計画

第2回 2023年1月14日(土) 13名参加 ①「常任理事会」報告、②「第15回 定期総会」Zoom開催方向

③「同窓会連合会の集い」報告、④会報「第14号」素案提示、⑤新HPの検討PJ開始

HP更新PJ 同年1月21日(土) 8名参加 現HPの更新委託の引継ぎ案と新HP運用案の比較検討し、最終は委託者に状況確認する。

HP更新PJ 同年2月1日(水) 委託者、支部役員4名 現HPの更新状況等を確認

第3回 同年2月11日(土) 11名参加 ①現HPから新HPの運用に変更、②①に伴い細則の改定

③「第15回 定期総会」講演DVD確認、④新規会員勧誘策検討、⑤第2回 小委員会報告

第4回 同年3月25日(土) 11名参加 ①会報「第14号」最終原稿確認、②「第15回 定期総会」案内送付

資料の確認、③新HPの運用確認、④細則の改定決議、⑤新規会員勧誘の具体的方法の検討

<細則の主な改定内容>第4回 役員会(2023年3月25日(土))で決議

- ・4項(委員会等)：「名簿管理委員会」を「名簿委員会」、「会報編集委員会」を「会報委員会」に改称し、HPの管理業務を「会報委員会」より「総務委員会」に変更
- ・5項(会費)：入会金を削除、正会員年会費を「2,000円」から「前年度役員会で決定」に変更
会費の納入を「郵便振込み」以外に「総会開催時に納入」「銀行振込み」を追記
- ・7項(細則の改廃)：「規約第13条(補則)の定めにより、役員会で決定する。」を追記

3. 本部「理事会」「常任理事会」「小委員会」等への参加状況

(1) 理事会：2022年6月25日オンライン(Zoom)会議に支部長・事務局長が参加

(2) 第1回小委員会：同年10月8日 Zoom会議に事務局長が参加

(3) 第1回常任理事会：同年10月29日 Zoom会議に支部長・事務局長が参加

(4) 「第8回 同窓会連合会の集い」：同年11月3日会場開催に1名参加、オンラインでも参加
参加しました報告を4ページ目に掲載しています。

(5) 第2回常任理事会：同年12月17日 Zoom会議に支部長・事務局長が参加

(6) 第2回小委員会：2023年1月28日 Zoom会議に事務局長が参加

4. 新規会員の入会促進策の実施

- (1) 4支部(西濃・関東・関西・中部支部)合同で支部の存在と紹介を行い、合わせて支部会員募集の案内を下記の媒体に掲載する等、機会あるごとにPRを実施いたしました。
- ① 2023年度版「先輩の就職先」冊子最終ページ(カラー刷) : 在学生全員に配布しました。
 - ② 2023年3月の卒業式にチラシ(カラー刷)として卒業生・修了生全員に配布しました。
 - ③ 本部発行の会報 Vol.43(白黒刷) : 今回から9月発行となりますが、最終ページ前に掲載されます。
- (2) 支部新規会員の勧誘策の実施

入会勧誘有望対象者として「30～40歳台の中堅現役世代」と「60～69歳の定年後世代」をターゲットにして「会報」「新HP」の他に「入会によって得られるメリットや支部活動状況を写真等で分かり易く紹介したチラシ」等を新たに作成して送付し、関心のある方を発掘した上で、地域・同期生・同クラブ等のキーを活用した勧誘を検討しています。

5. プロジェクト活動

1) 効率化ワーキンググループ(WG)活動

2020年度から「支部活動支援金」が交付されなくなり、経費削減の必要性から本WG活動を開始しました。経費の中で最大額であった「HP更新委託料(5万円/年)」を無くすべく会報委員会とプロジェクトを組んでHPの見直しを行った結果、新HPを運用することに致しました。これにより、維持費(15,180円/年)も不要となり合わせて65,180円/年の削減が図られました。これで支出全項目の削減がなされたため、これをもって本グループ活動を終了いたします。

2) イノベーションプロジェクト(IPJ)活動

中断していましたが、有力候補が無いことから今回の定期総会をもって活動を終了します。

◇会報委員会◇

会報委員長 菅村 浩 (繊維 1981)

本年度の会報(本号)は、コロナ禍のため見学会・交流会が中止となりオンライン(Zoom)で行いました「第14回 定期総会」「役員会」等を主体に編集しましたため4ページで発行致しました。

HPについては、更新等を2022年6～7月にかけて行い、前記の「効率化WG」でも記述していますように「同WG」とのプロジェクトで①現HPを外注から自前で更新できないか、②新HPを作成・運用して現HPを廃止する2案を検討しました結果、②に決まり新HPもできました。

2023年5月から新HPの本格運用を開始します。

新HPのアドレス(URL) : <https://gidai-ko-kansai.jimdofree.com/>

QRコード :



◇名簿委員会◇

名簿委員長 米元 孝博 (機械 1975)

・会員の動静 (令和5年3月31日)

会員数(令和4年6月1日)	増員	減員	現在の会員数(令和5年3月31日現在)	増減
140名	0	9	131名	▲9名

◇行事委員会◇

行事委員長 塚口 義清 (機械1971)

この3年間、コロナ禍のため見学会・交流会等の行事を中止しています。

コロナもインフルエンザ並みとなることから、比較的安全な屋外行事から開始していく予定です。

詳しくは、HP等でご案内いたしますので、ご覧ください。

★「第15回 定期総会」Zoom開催について

- 日時 **6月18日(日) 午後1時開始 (PM12:30から開けています)**
- 講演 **パイロットインキ株式会社 元取締役社長・会長 中筋 憲一氏**[1966年 工業化学科卒]
演題 『真っ赤なもみじがフリクションボールのふるさと』
- 詳細については、「第15回 定期総会」案内状をご覧ください。

■「第8回 同窓会連合会の集い」に参加して ■

◆ 総務委員 服部 豊 (2008年 応用化学科 修了)



昨年11月3日(文化の日)に3年ぶりに岐阜大学医学部記念会館で開催されました『第8回岐阜大学同窓会連合会の集い』に出席してきました。

吉田和弘新学長(右写真)から、経営と教学を分離した名古屋大学と統合した東海国立大学機構の活動状況の報告があり、ぎふハイスクールサットプロジェクトによる県内高校生との人材育成事業等、地域共創活動を拝聴し今の岐阜大学生が羨ましく思いました。



また、在校生の起業部から活動報告がありました。すでに起業した学生、これから起業しようと海外にも足を運んでいる学生等、目を見張る活動紹介がありました。彼らの活動に対し坪内工業倶楽部会長からは、「卒業生との連携をぜひとってほしい」とコメントされました。

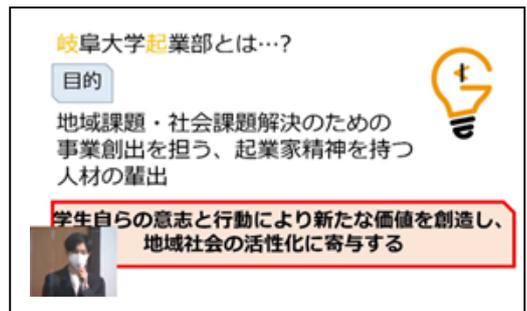
工業倶楽部としても卒業生のネットワークを充実させ、学生といつでもコラボできる体制を作っていくことが急務であると再認識しました。

特別講演は、フリクションボールペン(消せるボールペン：右写真)の開発者でパイロットインキ株式会社 社長・会長を歴任されました中筋憲一氏(工業化学科1966(S41)年卒：右写真)から発表がなされ、その開発には“感性”と“ひらめき”が大切であり、日々「ひらめきノート」に“気づき”を記録されているのが印象的でした。

我々関西支部も、現役生と卒業生との繋ぐ架け橋になれるよう“ひらめき”を付加価値に繋げていきたいところです。

卒業生の皆様、本年秋には岐阜大学で「ホームカミングデー」が企画されています。

世代・学科を超えた同窓生との交流に興味がある方は、関西支部事務局までご連絡ください。



<事務局より> 服部氏は新役員です。今後ともよろしくお願ひいたします。

『第8回 岐阜大学同窓会連合会の集い』は、新HPの「リンク」に掲載しています。また、下記のYou Tube アドレスからもご覧いただけます。



<https://www.youtube.com/watch?v=ByF-u2yCHeg> (4時間32分の長編、開始は29分頃からです)

<名簿委員会から会員の皆様へのお願い>

会員の皆様から頂きました“入会申込書”等の個人情報は、「会員皆様への情報発信」と「会員相互の交流・連絡等」を図る重要なツールであります。これら支部活動を迅速・円滑に進めるためにも絶えず最新の情報として整理しておく必要があります。

そのため、住所、電話番号、メールアドレス等、会員皆様の情報に変更が生じた場合や、メールアドレスを新規に取得された場合には、お手数ですが直ちに事務局までご連絡をお願いいたします。

今後とも会員の情報管理には万全を期し、支部活動にのみに活用させていただきますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

入会情報やあらゆる情報のご連絡、お問い合わせ先

岐阜大学工業倶楽部 関西支部 事務局長 大森 和男
〒550-0012 大阪市西区立売1丁目4番9号

中井産業ビル4F 株式会社 光栄内

Tel : 090-3996-3306 Fax : 072-738-3369

E-mail : nrh53171@nifty.com

HP : <https://gidai-ko-kansai.jimdofree.com/>

岐阜大学工業倶楽部 関西支部

発行人 支部長 岡田 敏嗣

編集人 会報委員会

委員長 菅村 浩

担当 湊 紀夫 井上 和夫

平井 佳紀 坂口 満明